

令和 7年度予算見積調書

課室名：防犯・交通安全課

担当名：防犯・犯罪被害者支援担当

内線：2956

(単位：千円)

番号		事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P73		犯罪被害者等支援体制の整備促進事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	防犯のまちづくり推進費		
事業期間	平成30年度～令和 8年度	根拠法令	犯罪被害者等基本法、犯罪被害者等支援条例 防犯のまちづくり推進条例				針路 分野施策	02 県民の暮らしの安心確保 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化	SDGsゴール SDGsターゲット	1, 3, 4, 5, 10, 16 1-5, 1-b, 3-7, 4-7	
1 事業概要 犯罪被害者等が受けた被害の早期回復又は軽減を図り、再び平穏な生活を営むことができる社会を実現することで、県民が安全で安心して暮らせる社会を目指すため、次の事業を実施する。 ア 性犯罪等相談体制強化事業 20,899千円 イ 市町村相談支援体制強化事業 66千円 ウ 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援体制機能強化事業 878千円 エ 犯罪被害者等支援のための普及啓発事業 633千円					5 事業説明 (1) 事業内容 ア 性犯罪等相談体制強化事業 20,899千円 (うち国交付金：1/2又は1/3(医療費公費負担分)) (ア)アリスホットラインにおける相談支援体制機能の維持(24時間365日相談受付、フリーダイヤル、オンライン相談等) (イ)性犯罪被害者等への医療費等の公費負担 (ウ)性犯罪被害者等への法律相談の公費負担 (エ)性犯罪等被害者支援施策の周知・広報 (ウ)性暴力被害者支援看護職の養成 イ 市町村相談支援体制強化事業 66千円 (ア)相談体制強化や支援施策に関する研修会等の開催 ウ 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援体制機能強化事業 878千円(うち国庫補助金：1/2(体制の運用分)) (ア)彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センターの相談支援体制機能の維持(代表電話(フリーダイヤル)) エ 犯罪被害者等支援のための普及啓発事業 633千円 (うち国委託金10/10(広報啓発チラシ)) (ア)広報啓発チラシ等の作成、配布 (イ)学生ボランティアを活用した広報啓発 (ウ)犯罪被害者週間行事の開催 (2) 事業計画 ア(ア)相談電話・医療費・法律相談・ワンストップ 支援業務委託 (イ)犯罪被害者等支援(アリスホットラインを含む)の普及啓発(通年) (ウ)啓発品企画、調達(5月)、中学・高校への配布(7月) (エ)各種イベントや街頭キャンペーン等での広報啓発(通年) イ(ア)市町村研修(5月、10月) (イ)市町村に対する犯罪被害者等支援業務の質向上のためのアウトリーチ型支援(通年) ウ 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センター相談電話受付等業務(通年) エ(ア)犯罪被害者週間キャンペーン(被害者週間(11月25日～12月1日)を中心に実施) (イ)市町村への協力依頼(9月～12月) (3) 事業効果 【活動指標(アウトプット)】 ア 犯罪被害者等への寄り添った支援による身体等のダメージからの回復(社会のセーフティネットとしての役割)が図られる 相談件数：2,100件 医療費及び法律相談の公費負担助成件数：100件 イ 市町村との連携・協力により、地域で暮らす犯罪被害者等に対し途切れなく支援を行う 主管課長会議(1回)、市町村研修・意見交換会(8回)、面談・職員派遣型支援(10回) ウ 彩の国ワンストップ支援センターにおけるワンストップ支援の連携体制が図られる 相談件数：5,300件 エ 犯罪被害者等の置かれた現状と支援の大切さに関する県民や事業者への周知により理解が促進される ホームページ・SNS・ラジオ等による発信(20回)、キャンペーンの開催(12回) 【成果指標(アウトカム)】犯罪被害者支援における認知度；(県簡易アンケート調査)令和5年7月：21.5% ⇒ 令和7年7月：35%						
2 事業主体及び負担区分 ア (国1/2、県1/2)但し、医療費公費負担分は(国1/3、県2/3) イ (県10/10)、ウ (国1/2、県1/2) エ (国10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.9人=46,550千円											

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金							
決定額	22,476	10,603						11,873	△2,821
前年額	25,297	10,244						15,053	

事業内訳書

事業名	犯罪被害者等支援体制の整備促進事業費		
単位事業名	性犯罪等相談体制強化事業	予算額	20,899千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 県民費補助金	10,301	203	性犯罪・性暴力被害者支援交付金 補助率定額
一般財源	10,598	153	
合計	20,899	356	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	128	△49	産科医療従事者研修旅費相当額 性犯罪被害者支援医療従事者研修講師謝金
需用費	867	87	産科医療従事者研修費用 性犯罪等に係る証拠保全(保管等消耗品) 性犯罪等に係る証拠保全(滅菌綿棒) 県民向け相談啓発品作成
役務費	9	△124	性犯罪等に係る証拠保全(証拠採取キットの配布)
委託料	19,895	442	アイリスホットライン運営業務委託

単位事業名	性犯罪等相談体制強化事業	予算額	20,899千円
-------	--------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	20,899	356	

単位事業名	市町村相談支援体制強化事業	予算額	66千円
-------	---------------	-----	------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	66	△20	
合計	66	△20	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	52	0	研修等講師(犯罪被害者等)謝金
旅費	14	△20	アウトリーチ型旅費
合計	66	△20	

単位事業名	彩の国犯罪被害者ワンストップ支援体制機能強化事業	予算額	878千円
-------	--------------------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 県民費補助金	164	164	犯罪被害者等支援補助金 補助率 1/2
一般財源	714	714	
合計	878	878	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	200	200	支援員受傷対策 有識者検討会謝金
旅費	38	38	アウトリーチ型支援旅費 全国(集合)研修 支援員実地研修
需用費	65	65	支援員研修教材費 電話回線工事料
役務費	513	513	電話回線使用料等(総合的相談窓口) 電話回線使用料(相談支援事業)

単位事業名	彩の国犯罪被害者ワンストップ支援体制機能強化事業	予算額	878千円
-------	--------------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
扶助費	62	62	応急的日常生活支援
合計	878	878	

単位事業名	犯罪被害者等支援のための普及啓発事業	予算額	633千円
-------	--------------------	-----	-------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 県民費委託金	138	△8	人権啓発活動地方委託金
一般財源	495	85	
合計	633	77	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	250	34	犯罪被害者相談窓口経常費 県民配布用啓発チラシ

単位事業名	犯罪被害者等支援のための普及啓発事業	予算額	633千円
-------	--------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	21	△319	犯罪被害者支援学生ボランティア活動保険
委託料	362	362	犯罪被害者週間行事の開催
合計	633	77	